

令和6年2月20日

会員 各位

一般社団法人岩手県薬剤師会
会長 畑澤 博巳

災害派遣薬剤師の募集について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、能登半島地震の被災地域では、地域の医療体制も徐々に復旧し、薬剤師による支援活動の規模も発災直後と比較して縮小傾向ではあるものの、依然として避難所での生活を余儀なくされている方々がおられ、薬剤師による支援がまだまだ必要な状況にあります。

今般、日本薬剤師会を通じて、3/4～3/8の期間について薬剤師派遣の依頼がありましたことから、当該期間に出動いただく派遣薬剤師の募集を行うこととしましたので、応募される方は、別紙を参考のうえ、下記回答書に記入のうえFAXいただくか回答フォームにより岩手県薬剤師会事務局にご回答願います。

※ 今回、応募いただいても派遣に至らないことがある、ということをご承知おき願います。

災害派遣薬剤師募集 申込書

令和6年能登半島地震に係る現地での活動に参加します。

令和6年2月 日

氏名	年齢	歳	性別	男・女
勤務先名	地域薬剤師会名		薬剤師会	
電話番号	FAX番号			
携帯電話番号				
Eメール				
出動可能期間 ※移動日を含む	3/4(月)～3/8(金)			

こちらのフォームからも回答いただけます。

<https://forms.gle/ZpQdWx78EsKG21iE9>

回答期限：令和6年2月25日(日)

回答先：岩手県薬剤師会事務局 FAX 019-653-2273

Eメール ipa1head@rose.ocn.ne.jp



【令和6年能登半島地震における災害派遣薬剤師について】

1. 集合場所、派遣先について

- (1) 集合場所：国立能登青少年交流の家（石川県羽咋市柴垣町14-5-6）
- (2) 予定派遣先：珠洲市、金沢市1.5次避難所（石川総合スポーツセンター）

※ 派遣先は日本薬剤師会がマッチングします。

2. 派遣期間等について

派遣期間：令和6年3月4日(月)～3/8(金)、1チーム3名による5日の活動（移動日込み）

3. 派遣薬剤師の調整

- (1) 各都道府県薬剤師会は、派遣可能な薬剤師の名簿を日薬に提出。
- (2) 日薬は、各県薬から提出された名簿をみて、派遣を依頼する県薬に連絡。

4. 費用負担など

- (1) 損害保険及び賠償責任保険：日薬で一括加入（日薬負担）
- (2) 交通費、宿泊費（宿泊された場合）雑費（高速代等）：石川県から支弁される予定
- (3) 集合場所（石川県薬剤師会館）まで交通費：岩手県薬負担
- (4) その他、活動に関わる費用：原則として、岩手県薬剤師会で負担。

一時的に立替払いをお願いします。岩手に戻られてから精算させていただきますので、領収書を必ず保管して下さい。

5. 派遣にあたっての留意事項

- (1) 宿泊について、日薬で宿泊可能な施設を確保しています。

① 珠洲市で活動する場合（2/20時点）

男性・・・石川県立能登少年自然の家

10人程度の大部屋。水道、暖房不可*。風呂無し。水洗トイレ有（雨水利用）。
部屋に鍵は無し。

※ 貸出のファンヒーターがありますが、数に限りあり。

宿泊者用の布団は用意されていますが、防寒性が低いため、防寒対策が必須。

女性・・・健康増進センター ふれあいの里

水道不可。暖房可*、仮設トイレ、簡易トイレ有。風呂無し（ミストサウナ支援車有）。

※ 暖房は、一部を除いて、施設業務時間内のみ利用可。

布団はないので寝袋をご用意ください。

② 金沢市で活動する場合：国立能登青少年交流の家（石川県羽咋市）

- (2) 携行備品について、別添の携行備品リストをご確認ください。金沢駅周辺や羽咋市柴垣の宿泊施設に向かう間では水、食料の手配が可能ですが、避難所によっては水、食料が手に入りにくい所がございますので、あらかじめご注意ください。
- (3) 活動場所に向かうレンタカーにつきましては、岩手県薬剤師会で手配します。
- (4) 活動内容は、調剤、医薬品・OTCの管理のほか、避難所の感染制御対策、公衆衛生管理等となります。その他にも業務が発生する場合がございますので、詳細は現地にてご確認ください。
- (5) 交通事情、現地のライフライン、食事、宿泊、トイレ事情、必要物資などは、日々、状況が変化しますので、石川県のホームページ等でご確認下さい。
- (6) 支援に必要な医薬品は石川県薬で手配いたしますので、医薬品は持参しないでください。

6. 本件に関する連絡・照会先

岩手県薬剤師会事務局 TEL 019-622-2467

以上

災害支援薬剤師で石川県に入る先生へ

日本薬剤師会

このたびは、災害支援にご協力いただきありがとうございます。

金沢市内は、コンビニ、飲食店、大型商業施設など平常通りですので、必要なものは金沢市内で揃えることもできます。現地拠点は、石川県薬と羽咋市柴垣（国立能登青少年交流の家）で、羽咋市柴垣が宿舎になる班が多いと思います。石川県薬へ寄ってから支援に入る方は、石川県薬にいる日薬担当者に詳細をお伺いください。下記に、被災地に入った支援者の声から届いた携行備品を参考までにお伝えします。どうぞよろしくお願ひします。

【携行備品リスト】個人で準備するもの

重要度 A

- ・フード付きのアウター（防寒性のインナー）
- ・着替え（洗濯機は宿舎になし）
- ・歯ミガキセット
- ・防水性の高い靴
- ・マスク
- ・携帯充電器
- ・室内用スリッパ
- ・パソコンもしくはタブレット（宿舎での作業用）
- ・タコ足電源ソケットもしくは、多口延長コード
- ・（珠洲派遣の場合は）寝袋

重要度 B

- ・雨具
- ・アイマスク
- ・シャチハタ印
- ・モバイルバッテリー
- ・メモ帳
- ・筆記具

重要度 C

- ・自分用食事（コンビニで調達可能だが、こだわりの一品は持参していた方が良いでしょう）
- ・カイロ
- ・消毒用エタノール（アルコールティッシュ備蓄あり）
- ・ボディシート（もし、入浴できない地域に行った場合用）